

令和6年度学校関係者評価書

学校名 高野口小学校

令和 7年 3月 3日

|            |  |
|------------|--|
| 学校関係者評価委員名 | 井澤 清 北浦健司 井上百合子 丸井 紘子 柏木善光<br>佐田亜紀 田中博晃 守安健次 片岡裕貴 井本 球 |
|------------|--|

|   | 項目                    | 内容   |
|---|-----------------------|--|
| 1 | 教育目標・重点目標の設定に対する意見    | ユネスコスクール加盟校として「未来を創る子どもの育成」を最上位目標に、SDGsの視点を取り入れた学校経営が素晴らしい。来年度も、「Well-being な学校づくり」に向けた取組を全校挙げて進めていってほしい。  |
| 2 | 目標や計画の達成状況に対する意見      | 発表会等での子どもたちの様子を通して、学校愛・地域愛の高まり、そして未来を思う気持ちを強く感じた。子どもたちの自主性を最大限に生かし、着実に目標が達成されていると思う。<br>難しい面があるが、計画に数値目標を取り入れると、進捗・達成状況がさらに明確になると思う。   |
| 3 | 自己評価結果の適切さに対する意見      | 子どもたちに接する先生方の姿勢に感銘を受けた1年間であった。「課題が多い」との評価部分を大切にし、来年度の取組に活かして欲しい。生活指導においても、アンケートをもとに、家庭と連携しながら改善して欲しい。<br>今年度から始まった1・2年生対象の放課後学習の充実を望む。   |
| 4 | 保護者アンケート結果との比較についての意見 | 親も今一度「子どもたち＝未来を創る大切な人材」であるとの認識の下、もう少し広い心で、子どもや先生方を信じて見守る姿勢が必要であると感じた。<br>ルールや規則は豊かな学校生活を送るための手段であり、強すぎると目的から離れることがある。先生方には、アンケート結果に必要以上に縛られることなく、素敵な運営を続けて欲しい。<br>家庭での読書については、連携を強めながら、新たな取組を模索して欲しい。地域とともに考えると成果が上がるかもしれない。 |

|   |                    |  |
|---|--------------------|--|
| 5 | 次年度に向けての改善方策に対する意見 | <p>今年度、学校運営協議会を3部会に編成し直し、先生方とともに各種取組を行うことで活動の幅が広がったと思う。来年度は部会毎の打ち合わせを密にし、さらに充実した体験活動を実施できたらと思う。</p> <p>親子のふれあいを大切にした実践も必要かと思う。</p>   |
| 6 | その他学校運営の改善に関する意見   | <p>先生方との交流の場を設定していただき、たいへん有意義であった。今後も同様の機会があれば、と思う。</p> <p>子どもの指導・保護者対応等々、年々難しさが増す学校現場であるが、「ピンチはチャンスと捉えている」との校長先生の言葉が力強く頼もしい。学校が抱える難題を私たちとも共有していただいたことに感謝するとともに、少しでも期待に応えられるよう努力していきたいと思う。</p> <p>国内外の学校とのオンライン交流等を用いて、ユネスコスクールとしての活動を増やして欲しい。</p> |